

# 本音の コトバ



小百合 河村

かつて全国に数多く存在した「社会保険病院」

「厚生年金病院」「船員保険病院」では経営が悪化する先が増え、設立母体の本業の重荷に。国はそれらを可能な限り民間に売却し、二〇一四年四月、残った病院を一つに束ね国の独立行政法人としてJCHO（ジェイコ）<sup>1</sup>、地域医療機能推進機構（を設立した。救急、災害、へき地、周産期、小児の五事業に加え、地域医療・介護の提供をミッションとして担う。

傘下に入った各病院の状況は設立の経緯から推して知るべしだが、病床過剰地域あり、へき地ありと様々。採算面でも困難な事情を抱えていた。

## やりたい医療ではなく

しかしJCHOは現在全国に五十七病院、二十六の介護老人保健施設、十三の地域包括支援センター等を擁する病院グループに生まれ変わった。全職員に旧病院を退職させる形で組織や人事運営を一本化。各病院は地元地域の医療構想等を踏まえ、真に必要な病床機能への転換等を進める。経営面でも初年度から一貫して黒字。並々ならぬ経営努力に頭が下がる。

去る七月の独法の業績評価会議で、尾身茂理事長は「やりたい医療ではなく、地域のニーズに添えることこそ我々の仕事だとの意識改革を職員に徹底してきた」と述べた。各地の公立病院改革の進展はまだら模様。関係者も私たち住民も、尾身理事長のこの言葉をかみしめるべきだろう。（日本総研上席主任研究員）

2018.10.18

## 本音の コトバ



ふるさと納税を巡る議

論が熱を帯びている。野田聖子前総務大臣は先月十一日、返礼品の金額は同納税額の三割以下、かつ地場産品に限るという基準を守らない自治体は、同納税の対象から外すことも検討、と述べた。

ふるさと納税額全国一を誇る大阪府泉佐野市は同月二十八日、市長の「総務省の基準は受け入れられない」とするコメントを発表し、副市長が東京まで出向き記者会見。真っ向から対立している。泉佐野市は関西国際空港の対岸にある人口十万人の市。空港関連整備等で財政事情が悪化し、二〇〇七年度から六年間は「早期健全化団体」の一

かわじら さゆり  
河村小百合

## 泉佐野市への疑問

つだったこともある。

歳入総額五百八十億円（一六年度）の同市が一七年度には実に百二十五億円というふるさと納税を受け入れた。決め手は他県産の肉や航空会社のマイレージポイントといった高価な返礼品。総務省の基準は度外視だ。同市のふるさと納税実績報告書には、同納税のおかげでできた事業が山と並ぶ。関空アイスアリーナの建設やウガンダ共和国支援まである。

しかし、この納税が他の自治体の歳入を犠牲にする形で得られていることを同市の財政担当者が知らないはずはあるまい。歳入を確保したいなら、返礼品競争に精を出すより先にやるべきことがあつたのではないか。泉佐野市の姿勢には疑問を禁じ得ない。（日本総研上席主任研究員）

2018.10.11

# 本音の コトバ



米連邦準備制度 (Fed)

で一九八七―二〇〇六年在任のグリーンズパ  
ン元理事会議長は、当時  
史上最長の景気拡大を  
実現。数少ない意味不明  
瞭な発言は神様のご託  
宣のようにもはやされ  
た。

しかし、金融危機の下  
地となったバブルを見  
過ごし、評価は地に落  
ちたも同然となってい  
た。

後任のバーナンキ元議  
長はたびたび米議会に  
赴き、危機後の大規模  
な資産買い入れという  
異例の金融政策の良  
い面、不都合な面を  
合わせて誠実に説明。  
米国納税者の不利益  
となりかねない出口  
局面でのFedの財務  
悪化の可能性も、複  
数のシナリオ別の試算  
結果を定期

かわむら き ゆり  
河村 小百合

## 中央銀行のボスは誰か

的に公表。同議長は退任直前の一三年末、「Fedの透明性向上が任期中の個人的な目標だった」 「Fedは政府内で独立した機関だが、議会こそが法に基づきFedの職務を決める。議会はわれわれのボスだ。だから議会に赴き説明する必要がある」と述べている。

黒田日銀のボスは一体、誰なのだろう。この五年余、野党議員から国会で度重ね出口戦略を問われても知らん顔で通し、自民党の河野太郎元行革本部長(現外相)から説明を求められても一切無視。ボスは安倍晋三首相ただ一人で「アベノミクス」に忠実に、出口戦略も何もないまま事実上の財政ファイナンスを続行するということか。そのツケはいずれ私たち国民に回されることになる。(日本総研上席主任研究員)

2018.10.4